

目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	アセスメントが有効に活用されておらず、介護計画の個別性が十分ではない。法人の理念の実現に向けて、アセスメントと介護計画を有効に連動させる仕組み作りを期待したい	アセスメントと介護計画を連動させ、現状に則した個別性のある介護計画を作成する	センター方式を有効に活用する為の学習を行う スタッフにもアセスメントの記入やプラン作成に関わり、利用者一人一人の暮らし方の意向を掴めるよう普段の関わりの中から探る	12ヶ月
2	23	職員間で情報は共有されているが、アセスメント内容に反映されていない。本人の表情や何気ない会話なども記録して、言動の要因や背景についてアイデアを出し合う事によりより一層本人の望む生活が見出せるのではないか	本人がより良く暮らすため、課題とケアのあり方について、その都度話し合い現状に則した介護計画を立てる	何気ない表情や会話なども記録に残す 気になる言動についてカンファレンスとその都度開き、言動の背景などを探りケアのアイデアを出す アイデアをケアプランに反映させる。	12ヶ月
3	36	認知症とプライバシーに関する研修が実施されていない。定期的に学びの機会を持つ事は、失われやすい「気付き」を得たり、ケアの振り返りの機会となる。	定期的に内外の研修に参加する	内外の研修を確認する 研修に参加できる体勢や勤務調整を行う	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月